

当院は入院及び外来において

後発医薬品(ジェネリック医薬品)の 使用に積極的に取り組んでいます



(当院は【地域支援・医薬品供給対応体制加算1】を算定しています)

患者さまが**後発医薬品**を選択しやすくするため、診察時に**後発医薬品**に関する患者さまの移行を確認するとともに、**後発医薬品**の使用に関するご相談も積極的に対応しております。

また、医薬品の供給不足により薬剤を変更する場合がありますが、その際には十分に説明をいたします。

ただし、以下のように使用できない、あるいは使用しないほうがよいと思われる場合があります。

- ・ 後発医薬品（ジェネリック医薬品）が未発売の医薬品
- ・ 変更すると、効果からみて症状が変化するとと思われる場合
- ・ 外用薬などで使用感覚の状況が変化するとと思われる場合
- ・ 適応症が同じでない後発医薬品（ジェネリック医薬品）
- ・ 先発医薬品との薬学的同等性が証明されていない医薬品
etc.

ご不明な点はご遠慮なく診察時に医師にお尋ねください。



本山町立国保嶺北中央病院 院長